

SDGs パートナー宣言

2022年11月26日

環境省東北地方環境事務所と公益社団法人仙台青年会議所とは、新型コロナウイルス感染症、気候危機などの人類が直面する世界共通の課題に対し、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会と、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「2050年カーボンニュートラル」と地域活性化の好循環を実現するため、『SDGs（持続可能な開発目標）』の達成に向けた取組を、パートナーとして、協働して推進していくことをここに宣言致します。

両者の蓄積した知見やネットワークを活かし、「脱炭素社会」、「循環経済」、「分散型社会」という「3つの移行」による経済社会の「リデザイン（再設計）」を進めていくことで、「地域循環共生圏」（ローカルSDGs）、更にはグリーン社会の創造に向けた以下の取組を、協働して展開していきます。

一、SDGsの認知度向上又は意識向上及び「地域循環共生圏」（ローカルSDGs）の創造に向けた、環境に配慮したSDGsに関する地域企業や住民等に対する普及啓発等に関すること

一、気候危機を踏まえた、脱炭素社会への移行及び2050年カーボンニュートラルと地域活性化の好循環に向けた、地域における自立分散型エネルギーの導入、脱炭素経営、ESG金融等に関する、中小企業を含む地域企業等への普及啓発、情報提供又は情報交換、取組の支援等に関すること

一、次世代に対する環境に配慮したSDGsの啓発・普及に関すること

一、以上を目的とした政府関係機関、地方自治体、企業、住民等の多様な主体間のネットワーク構築・強化に関すること

上記の取組により、政府、地方自治体、企業、住民等の国内外の多様な主体による環境に配慮した持続可能で豊かな活力ある社会である地域循環共生圏（ローカルSDGs）や2050年カーボンニュートラルと地域活性化の好循環の実現等に向けた能動的行動を後押しし、誰一人取り残さない持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

環境省
東北地方環境事務所長

公益社団法人仙台青年会議所
理事長

署名 田村 省二

署名 八重樫 司